

施策	4301 予防対策の強化							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	余地有		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	各種健診や予防接種の実施、新たな感染症の発生・拡大を防ぐ意識啓発や体制づくり、生活習慣病の予防等を図る。							
成果指標	胃がん検診受診率・・・50.0%（平成29年度目標値）（現状値11.7%） 国民健康保険人間ドック（一般、脳）受診者数 ……1,000人（平成29年度目標値）（現状値832人）							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [%]	予定	12.00	17.00	22.00	35.00	50.00	
		実績	11.60	14.00	13.60	12.60		
	成果指標2 [人]	予定	900.00	940.00	960.00	980.00	1,000.00	
		実績	793.00	837.00	838.00	851.00		
		単位コスト	841.74	1,063.61	983.04	1,000.13		
	成果指標3 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 []	予定						
実績								
単位コスト								
トータルコスト (千円)	予定	851,454	952,048	914,844	928,797			
	実績	667,499	890,239	823,785	851,109	0		
内 部 評 価	貢献度	人間ドック受診費用の助成や各種検診の受診率の向上は、日頃の健康管理への動機付けや早期治療につながり、予防的な施策として健康づくりの充実に貢献する。						
	達成状況	がん死亡率の上位にある胃がんの検診受診率、国民健康保険人間ドック（一般・脳）受診者数とも目標値を下回ってしまった。						
	課題	人間ドックについては費用助成対象者に未受診者が発生した。胃がん検診の受診率が前年度より下がってしまった。						
	取組方針	けんしん受診の重要性に関する周知、受診勧奨に努める。また、人間ドック実施協力機関の確保について検討する。						
外 部 評 価	胃がん健診受診率の目標値は妥当なのかを分析し、目標値を検討すべきである。 集団検診の実施については充実しており評価できる。受診しない理由について調査し、受診率向上につながる対策を検討すべき。 小中学生へ健診の啓発をするなど、親世代の受診率向上に向けた事業の取組みを検討すべき。 予防接種ナビは、子育て世代にとって予防接種を計画的に受けるためのサポートになっており良い取組みである。 データヘルス計画の分析結果を公開し、改善指標を決めて対策強化に取り組むべき。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	132801	医療費通知事業費				9,743	100	
	134401	後発医薬品利用差額通知事業費				947	100	
	270101	健康診査事業費				225,589	100	
	271201	新型インフルエンザ対策事業費				7,820	100	
	717701	データヘルス事業費				8,073	100	
	271101	予防接種事業費				435,334	99	
	715601	とち介の予防接種ナビ委託費				2,240	95	
	271502	狂犬病予防事業費（大平）				1,560	93	
	271501	狂犬病予防事業費（栃木）				1,464	92	
132601	健康啓発事業費				339	91		

平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	4301 予防対策の強化		
区分	妥当性	妥当	予防接種法、健康増進法や高齢者の医療の確保に関する法律等法令で市が行うことが義務付けられている。
	コスト削減の余地	無	受診率の向上に比例して、コストは上昇する。
	受益者負担	余地有	検診の自己負担金増額は可能であるが、受診率の低下、及び他市町の自己負担金とのバランスに注意が必要。
	上位貢献度	有効	人間ドックを含む健康診査は、予防的な施策として健康づくりに貢献する。
	類似事業の有無	無	関係法令で市が実施するとされており、類似する事業はない。
	成果向上の余地	無	受けやすい環境の整備で受診率向上の可能性はある。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題		集団検診は、市内14の会場で土日開催も含めて100回開催している。6月～10月の間は、検診の開始を従来よりも1時間早い7時半からとするほか、女性からの要望の多い「女性だけの検診日」を設定するなど、受けやすい環境づくりを進めてきた。また、集団検診の予約に、インターネットを使った24時間対応可能な予約システムを導入するなどの対応も行っているが、思ったほど受診率が伸びていない。
	取組方針		市広報紙やホームページ、20歳以上の全市民に送付しているけんしんパスポート等を通して、検診の重要性を周知していきたい。また、更なる受診しやすい環境づくりにも取り組む。

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	国保	款項目	080201	予算事業コード	132701	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	人間ドック検診事業費										主	4301	健康づくりの充実		予防対策の強化	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 保険医療課 国保係					担当者	内野 友理			従						
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等		国民健康保険法			事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	285,034		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 35歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者を対象に、人間ドック(一般・脳)検診費用の1/2相当額で3万円を限度として助成を行い、疾病の早期発見、早期治療を図る。 【主要事業】							達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 人間ドック(一般・脳) 受診者数 1,000人							
	成果目標	胃がん検診受診率・・・50.0%(平成29年度目標値)(現状値11.7%) 国民健康保険人間ドック(一般・脳)受診者数 ・・・・1,000人(平成29年度目標値)(現状値832人)														

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度			平成28年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 人間ドック検診費用の助成を行い、疾病の早期発見、早期治療により医療費の削減を図る。被保険者からの要望が高い事業であり継続して実施していく。 ・891人(予定)(一般680人、脳152人、宿泊59人) 【成果】 人間ドック検診費用の助成を行った。 ・838人(一般636人、脳149人、宿泊53人)			【事業の内容】 人間ドック検診費用の助成を行い、疾病の早期発見、早期治療により医療費の削減を図る。 ・950人(予定) 【成果】 人間ドック検診費用の助成を行った。 ・851人(一般666人、脳133人、宿泊52人)						
	県支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他特財	0	0										
	一般財源	17,474	17,487										
	事業費 a	17,474	17,487										
	人件費 b	375	2,700										
減価償却費 c	0	0											
総事業費 a+b+c	17,849	20,187	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	838.00	851.00	人間ドック検診受診者数	人間ドック検診の受診者数 H28目標値 950人		人		妥当	無	余地有	有効	無	有
結果指標 2													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・広報やホームページ等で啓発する。 ・検診実施機関について地域性や利用状況を考慮して検討を行う。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	270101	事業区分	02	行政的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策									
事業名	健康診査事業費										主	4301	健康づくりの充実		予防対策の強化								
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 検診係					担当者	小島 清		従														
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	健康増進法		事業期間	H18 ~ H30 年度		全体事業費 (人件費除)	1,769,290		千円											
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・脳卒中、心臓病、がんなどの生活習慣病の早期発見・早期治療推進のため、40歳以上の住民を対象に各種検診(特定健診、特定保健指導含む)を実施する。 ・若年から生活習慣病予防のため、ヤング健診を実施する。 ・女性がんとを無料(クーポン)で受診できるがん検診推進事業を実施する。 ・個別勧奨(コール)、再勧奨(リコール)事業を実施する。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・各種検診の受診率の向上 ・健診体制の充実															
	単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込		成果 施策目標	胃がん検診受診率・・・50.0%(平成29年度目標値)(現状値11.7%) 国民健康保険人間ドック(一般、脳)受診者数 ・・・・1,000人(平成29年度目標値)(現状値832人)																	
事業費・指標の推移	国庫支出金	2,422	2,017		事業の内容 その成果	平成27年度			平成28年度			事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地					
	県支出金	4,566	3,788			【事業の内容】	けんしんパスポートで20歳以上の全市民に個別に検診案内し、特定健康診査、後期高齢者健康診査、ヤング健診、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、ABC検査、歯周病検診を実施した。			けんしんパスポートで20歳以上の全市民に個別に検診案内し、特定健康診査、後期高齢者健康診査、ヤング健診、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、ABC検査、歯周病検診を実施した。													
	地方債	0	0			【成果】	日頃の健康管理への関心を促した。			日頃の健康管理への関心を促した。													
	その他特財	0	0			指標名	算出方法			単位	妥当								無	余地有	有効	無	有
	一般財源	176,172	182,284			結果指標 1	集団検診の実施回数	年間の集団検診実施回数 H28目標値 100回			回												
	事業費 a	183,160	188,089			結果指標 2	けんしん受診者数	年間のけんしん受診者数 H28目標値 16,500人			人												
	人件費 b	30,000	37,500			総事業費 a+b+c	213,160		225,589														
減価償却費 c	0	0																					
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・特定健診実施に伴う健診受診体制の整備と受診者への啓発、周知 ・無料クーポン検診の未受診者への再勧奨を計画的に実施																						
事後評価備考																							